

最近の雑誌の記事に「ユニクロやニトリが日本のデフレを深刻にしている」というような記事が目につく。雑誌にこうした記事が出るということは、そうした議論に共感する人が少なからずいるからだろう。実際、ビジネスの現場にいる人たちからも、「驚異的に価格を下げてくる企業がいるので、価格が底なし沼のようになってしまうって大変だ。なんとかしてほしい」という声が聞こえてくる。



伊藤元重の

## ニュースな見方

アの話だ。病気になるれば折り、医者から病気ではない。プというマクロ経済の需要へのシフトが進み、そしてロやニトリのような企業に裨（きとつ）に頼るしかな。しかし、医学への信頼がな。不足を日本経済は抱えてき。アジアの活力をより積極的。有利に働いているだけなの。ほしい。この時代に、あた冷静な見方ができなかった。これだけ長期にデフレに取り込む努力が必要なのだ。

低価格戦略の企業から高価格・高価値戦略の企業までいろいろな性。価格・高価値戦略の企業でいろいろなタイプの企業があることが、選択の多様性を提供し産業活力の源泉となる。かつて日本の物価

たそうだ。病人が多い村ほど、冒頭に述べたデフレとユニクロの話にも似たところ。多くいる。どうも医者が増える。病気がまん延するようだ。

この話は現代の私たちに。代はほとんど笑い話である。だ。日本を覆っているデフレ解消しないかぎりデフレ基調を変えられない。残念ながら魔法のように、ユニクロのような企業は、企業行動に介入しようとするファッショの

# デフレの原因は需要不足

はほとんど笑い話である。だ。日本を覆っているデフレ解消しないかぎりデフレ基調を変えられない。残念ながら魔法のように、ユニクロのような企業は、企業行動に介入しようとするファッショの

果関係は病気から医者である。因 992年から現在に至るまで、20年近くデフレギャップを解消するが有利になる。因果関係でしようとするファッショの

### ユニクロ悪玉論の誤り

体質の多くの業界で調整が実施され、新たな成長分野、デフレの存在がユニクロ

（東大大学院 経済学研究科教授）

\*この記事・写真等は日経新聞社の許諾を得て転載しています。